

syoun
鉦



2021 May

No.585

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心の医療

患者の人權と意思を尊重します

診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア

地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います

医療人育成

地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

手術室に空気感染隔離ユニット「ミンティ」が入りました



手術時の清浄な環境を保つためには、高性能フィルターからの清浄な空気を送り出す「高機能の空調」、外部からの空気の流れ込みを防ぐための「陽圧管理」が必要です。

その中の「陽圧管理」では、手術室を手術室以外より圧が高くなるように設定してあります。

しかし、空気やエアロゾル感染により感染拡大するような感染症をお持ちの場合は、この陽圧管理が逆に閉じ込めておきたい空気を外に出してしまい患者さんや医療者の感染リスクを上昇させてしまうことになります。

そこで、今回空気感染隔離ユニット「ミンティ」を導入しました。様々な使用方法が可能ですが、当院では手術室の入り口に設置し、陰圧となる前室を作るこ

とで廊下への空気の流れ込みを防止しています。

このミンティを使用することで、外への空気の流れ込みを心配することなく「高機能の空調」を使用できます。その結果、空気・エアロゾル感染症患者さんの手術の際に手術を受ける患者さんにも手術を行う医療者にも優しく、これまで以上に安全な手術医療を提供できるようになったと思います。

写真のようにテント状ですので室内に入ってこられる方は患者さん・医療者ともに少し驚かれているようです。

必要時に迅速に使用できるように設置しておりますので、ご心配なくご入室ください。

手術室 看護師 村上 陽子

よろしくお願いたします

4月から毎月第1・3・5水曜日の産婦人科外来を担当させていただいている片渕秀隆です。この3月末に熊本大学を定年退職し、くまもと森都総合病院で特別顧問として勤務しております。

1878（明治11）年に開設された公立人吉病院の時代から地域医療に多大なる貢献をされてきた本院において、産婦人科には大学の諸先輩が代々継続して勤務されてきました。2010年に副院長職を兼務して赴任した大竹秀幸部長が、2019年10月、再建された熊本市市民病院に異動となり、現在は、私にとって大切な大先輩、教室同窓会の副会長も務めていただいた故瀬戸致行先生の次男の瀬戸雄飛部長、星原孝幸医長、下川理沙医師の3人体制で、ハイリスク妊娠や婦人科腫瘍の管理を担い、人吉・球磨地区にとって欠かせない存在となっています。それを証明することになったのが、昨年7月3日・4日の球磨川の未曾有の氾濫でした。待たなしの周産期医療において人吉医療センターが中心となり、被災された河野産婦人科医院、愛甲産婦人科皮膚科医院と連携をとりながら難局を乗り越えられました。4月の初めての外来担当の日、大きな濁流にのまれた病院前の球磨川の中州（中川原）が元に戻っているのを目にしてほっとしました。

私は1982年に熊本大学を卒業しましたが、木村正美院長と下川恭弘副院長とは1学年違いです。木村先生は当時から頑強な体躯をもちラグビー部に所属され、「ラッシャー」の愛称で慕われていました。「ラッシャー」で黒タイツのプロレスラー「ラッシャー木村」がすぐに

頭に浮かぶ人はもう十分によいお年であると思います。下川先生とは、大学院の時に第2病理学教室（現 細胞病理学講座）で一緒でしたが、当時から寡黙な中にもすべてを見通しておいで雰囲気がありました。

大学での仕事のひとつが地域医療連携でしたが、全国に先駆けて2010年に導入し、現在では7千余名の患者さんに使用されている「私のカルテ」を率先して活用されたのが人吉医療センターです。その推進役が医療福祉連携室の南秀明社会福祉士で、現在では熊本県全体の活動を担い、日本癌治療学会のがん診療連携・認定ネットワークナビゲーター委員会の委員としても600名を数える全国のナビゲーターのまとめ役としてご活躍です。私の専門は主に婦人科学で、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌などの婦人科がん、子宮筋腫、子宮腺筋症や子宮内膜症（チョコレート嚢胞）、絨毛性疾患などの治療に取り組んできました。本院の外来を担当させていただく中で、産婦人科の病気で悩みの患者さんの診断や治療、治療後のことについて道案内ができれば幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

産婦人科 医師 片渕 秀隆



地域の学校や教育・保健機関への性教育講演のご依頼も承っております。まずは、ご相談ください。

医療福祉連携室

TEL：22-2191/内線：240

呼吸器防護レスピレーター HALO 導入

空気感染予防に必要なマスクといえばN95マスクですが、高機能なゆえに「息苦しい」「呼気で暑い」というのが難点でした。長時間の手術や処置では、外した後は「ぐったり」「くたくた」感を感じることもありました。

今回導入したヘイローは、電動ファンがついており、私たちの呼吸を感知して清浄な空気をマスク内に送り込んでくれます。マスクの中は圧が高いため、初めて装着したときは息を楽に吸えることに驚きました。そして、これまで頭部をすっぽりと覆うものからより効率化され、長時間の使用が可能というまさにスマートテクノロジーにふさわしい器機です。



研修医挨拶



初期研修医1年目の中島凌と申します。4月より2年間人吉医療センターで研修させていただきます。生まれは熊本市で、熊本大学を卒業しました。3年前、当院で3週間の学生実習をさせていただいた際に、職員だけでなく患者さんやご家族にも丁寧にご挨拶をされていたことや、食べ物もお酒もとてもおいしい印象があったことから、研修病院として選択させていただきました。現在、1ヶ月ほどですが非常に充実した研修をさせていただいております。

大学時代は、サッカー部に所属しておりました。卒業して以来、運動をする機会は減りましたが、サッカーを通して学んだチームでの連携の重要性や、前向きに諦めない気持ちを大切に、日々精進して参ります。

このご時世ですので、なかなか人吉の観光地や居酒屋巡りなどが出来ないことは残念ではありますが、今後の楽しみとして、おすすめのスポットがありましたら是非教えてください。

未熟者ではございますが、初心を忘れずに精一杯頑張りますので、皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

臨床研修医 中島 凌



こんにちは、研修医1年目の上杉洋一です。今年4月から2年間皆様にお世話になることになりました。どうぞ宜しくお願い致します。熊本市出身、熊本大学卒業で熊本県以外に住んだことは1度もありません。血液型はRh(-)のO型です。これ読んだ皆さん、どうか覚えておいて下さい。お願いします。趣味は読書と音楽とアニメです。好きな作家は東野圭吾と平野啓一郎、好きなアーティストはaikoとビートルズ、好きなアニメは…きりがないのでめておきます。人吉に来てから毎日、親切な仲間やスタッ

フの皆様で囲まれ充実した日々を過ごしています。人吉で研修ができて本当に良かったと思います。ときには、或いはたびたび迷惑をかけることもあるかも知れませんが、どうか温かい眼差しで見守ってあげてください。声をかけてください。

これからの2年間、人生最大の頑張り時と考え、精一杯研鑽を積んでいくつもりです。どうか私を鍛えてください。重ね重ね宜しくお願い申し上げます。

臨床研修医 上杉 洋一

エピペン講習会受講

先日、エピペン講習会を受講させていただきました。「アナフィラキシー」と言えば、多くの方が一度は耳にしたことがある言葉だと思います。これは、アレルギー反応の中でも即時型(I型)アレルギーに含まれるもので、蜂に刺された時、また特定の食物を口にした時などに、急激に発疹や呼吸困難などの症状が現れ、場合によっては生命を脅かす危険な状態になることもあります。アナフィラキシーを起こした人に遭遇した場合、慌てずに対応するには、どうすればよいのでしょうか。

今回私が学んだのは、アナフィラキシー補助治療剤である「エピペン注射液 0.3mg・0.15mg」です。こちらは、アナフィラキシーを起こした患者が、医師の治療を受け

るまでの間、症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤です。使い方は、症状が出現してからなるべく早く、大腿の前外側に筋肉内注射を行います。形状は、スティック状になっており、小さいお子様でも使い方を学べば、容易に使用できるものです。これだけを聞くと、処置としては簡単に聞こえますが、過去に周囲の方が注射をためらってしまい、命を失ってしまった事例もあったと聞きます。

もちろん、これは医療機関での治療を行うまでの、繋ぎのための応急処置なので、アナフィラキシーが起ったときには、まず救急車を呼ぶことが大切です。自分や大切な人の命を救うのは、私たちの知識と行動力です。いざというとき、パニックになって対応を誤らないために、今のうちに正しい知識を学ぶであると、改めて感じました。

臨床研修医 中島 凌

第57回 地域協議会開催

R3年3月22日に第57回地域協議会を開催しました。地域協議会は、人吉市医師会、球磨郡医師会、人吉市歯科医師会、球磨郡歯科医師会、人吉球磨薬剤師会、西諸医師会、伊佐市医師会の代表者、行政、学識経験者から構成されています。当院が地域の医療機関の医師並びに歯科医師などからの要請に適切に対応し、地域の実情に応じた運営を行うことを目的としています。

前回は、リモートのみで行いましたが今回はハイブリット方式にて開催しました。

一度WEBでの開催を経験していたため、進行もスムーズに行うことができました。

今回の会議では、主に新型コロナウイルスの対応状況

について話し合いが行われました。人吉保健所 劔洋子議員より人吉球磨地域における医療体制構築の経過報告をしていただき、クラスターが発生し自宅療養者が発生した場合の対応について、病状について医療機関が、生活面やメンタル面のフォローについては保健所が対応を行うなど、役割分担を行い対応にあたっていると報告がありました。患者の発生状況は異なりますが、近隣のえびの市や伊佐市の現状や医療体制についても情報共有を行うことができ、充実した地域協議会となりました。

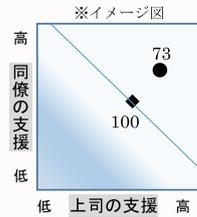
医療福祉連携室 高橋 薫子

ストレスチェック 集団分析の取り組みについて

2015年12月から、厚生労働省よりメンタルヘルス不調の未然防止（一次予防）を目的として、ストレスチェックが義務づけられました。また、努力義務ではありますが、職場環境の改善を図る集団分析というものもあります。

当院では、ストレスチェック受検者の増加傾向を受け、昨年度より、部署内の受検者が10人以上、かつ、結果が良好と判断された部署へは、集団分析の結果をお伝えする取り組みを始めました。

ストレスチェックの実施に際し、日々の業務は多忙でスピード感を要する急性期病院としての特徴による負荷に加え、昨年度はコロナ禍における豪雨災害も生じ、支援者もまた被災者であり、例年よりも負担感や疲労感が増加していたり、部署内の熱意や意気込みも薄まっていたりするのではないかと、との懸念がありました。しかし、ストレス値が低く、良好と判断された部署が7つありましたので、その取り組みを一部ご紹介します。



【総合健康リスク】
● 当院優良部署 73
◆ 全国平均 100

全国平均を100として、数字が少ない方が健康的な職場環境と言えます。



【部署の取り組み】

- ・ スタッフの得手・不得手に配慮した業務配置
- ・ 仕事量や物理的環境の調整
- ・ 取り組みの努力や見えにくい労力も評価
- ・ 部署間のチームワークの良さ
- ・ 普段の様子と異なる場合など早めの声かけと配慮

毎日生き生きと働く職員の姿が、患者さんへ提供できる医療の質及び安心感を高めると信じ、風通しのよい、働きやすい職場環境づくりを目指して、今後も取り組んでまいりたいと思います。

労働安全衛生委員会

歯と口の健康習慣

6月4日は6(む)4(し)にちなんでむし歯の日とされています。

それに伴って、今回は歯科口腔外科の口腔ケアチームで行っている口腔ケアラウンドについてご紹介します。

口腔ケアラウンドは人吉医療センターの入院病棟において、毎週火曜日と水曜日の週2日間実施させていただいております。主に依頼される内容として、経口摂取困難な患者さん(お口から食事がとれない方)や、ご自身で歯磨きのできない方、周術期等口腔機能管理の患者さん(手術を控えているまたは手術後や治療中の方)を対象に口腔ケアを実施しています。この中でも特に経口摂取困難な方はお口から食べ物を摂取しないため、口を動かさないことから唾の出る量が減り、唾による自浄作用(汚れを洗い流す作用)が低下してお口の中に汚れが溜まりやすくなります。さらに口呼吸が加わると、お口の中の乾燥が一段と強くなり乾燥と汚れが重なって普通の口腔ケアではお口の中を清潔に保つことは難しくなります。

そのような方に対する口腔ケアは①お口の中全体にスポンジブラシを用いて保湿ジェル(お口を洗うジェル)を塗布します。②ジェルを暫く置いて乾燥した汚れを湿らせて浮き上がらせます。③十分に潤湿したらきれいに洗って水気を絞ったスポンジブラシでぬぐい取ったり、ピンセットなどで少しずつ汚れを取っていきます。④歯についた汚れもこの時点で取れやすくなっているので歯ブラシで磨いて落とします。(歯ブラシやスポンジブラシについた汚れは適宜すすいだりして使用されると汚れが落としやすいです。⑤最後にジェルをガーゼなどで拭き取ります。これだけで乾燥して落としにくくなったお口の中の汚れはおおかた改善されます。しかし、このようにお口の中のお掃除が難しくならないようにするために、普段からのこまめなお口の中の保湿や定期的な歯科の介入が必要となります。

歯科口腔外科の口腔ケアチームによるラウンドは1日10名を目安に実施しておりますのでお口の中で気になることがありましたらお気軽に歯科口腔ケアチームや、歯科スタッフにお尋ね下さい。

歯科衛生士 中山 亜里沙



静脈可視化装置導入

当院では、新生児や血管が細い患者さんへの採血の際に「非接触型・静脈可視化装置」を導入し、安心・安全な医療を提供しています。



豪雨災害から 1 年を迎えるにあたり、気をつけたい心の健康 ～『アニバーサリー反応（記念日反応）』について～

Q. 『アニバーサリー反応（記念日反応）』とは何ですか？

A. つらい出来事から 1 年後などの節目の時期に、感情が大きく揺れることをいいます。これは誰にでも起こりうる当たり前のことです。異常でもないし、心が弱いわけでもありません。



Q. どのようなことが起きますか？

- A. その出来事を思い出したり、夢に見たりする
 ドキドキする、落ち着かない、眠れない
 イライラする、怒り
 怖い、不安
 気分の落ち込み、やる気が出ない、自分を責める
 思い出す場所や話をさける

Q. 対処法は？

- A. テレビや新聞など、目から入る情報に気を付ける
 自分のリラクセス法を意識的にこなす
 話を聞いてもらう

これらのことを事前に知っておくことで、乗り越えやすくなります。

産業医 渡邊 龍太郎

Reborn 人吉・球磨 内山クリニック歯科 in モゾカタウンのご紹介

昨年の豪雨災害後、駅前にモゾカタウンと呼ばれる仮設商店街が開設されました。仮設商店街の一角に当院の登録医でもある内山クリニック歯科さんが開設されましたので、院長の内山順誠先生に取材をさせていただきました。

Q1. 診療所の再開にあたって、まず地域の皆さんにお伝えしたいことをお願いします。

長い間、大変ご迷惑をおかけしたことを、お詫び申し上げます。

被災後に、たくさんのボランティアの方々に助けていただき、また励ましの言葉もたくさんいただきました。本当にありがとうございました。現在、こういう形でどうか一歩前に進むことができました。再び地域の皆様の健康増進のために微力ながら貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



Q2. 再開までの道のりで一番大変だったことはなんですか？

旧クリニックの建物の浸水面積が広く、医療機器や書類が全て泥まみれになったため、整理し、片付けるのに相当苦労しました。また、仮診療所を建設する計画を立て、人吉市内や近隣の町村の物件を探しましたが、適当な場所が見つかりませんでした。なりわい再建支援の説明会で、たまたま仮設商店街建設の計画を知り応募しました。とにかく少しでも早く再開したいとの思いが強く、その時は、“藁をもつかむ思い”で必死だったことを思い出します。



Q3. すばり、診療所のセールスをお願いします。

また一からのスタートになります。初心に戻り、地域の皆様に必要であると思っただけのような歯科医療を提供していければと思っています。水害に被災した経験を基に今迄以上に患者さんの心に寄り添った治療を心掛けていきたいと思っています。

Q4. 今後の予定があれば教えてください。

現在の気候状況を考えると正直不安もありますが、また同じ場所にクリニックを再建したいと思っています。

Q5. テレビ番組で、診療所や先生のご実家が被災されながら、支援物資の供給場所として診療所を開放するなど、ご自身が大変な状況の中、活動されているお姿を拝見しました。今後どういった活動が必要と思われますか？

私は場所を提供しただけで、実際は何もしていません。逆に、毎日笑顔でボランティア活動をされていた方々に、たくさんの元気と勇気をいただきました。また、人吉市歯科医師会の中原会長をはじめ、被災された先生方も水害後に避難所での歯科検診や口腔ケアの活動をされておりました。その他にも色んな活動をされていた方々がたくさんおられますので、私が行った事は大きなことではありません。

Q6. 最後に地域のみなさんに一言お願いします。

この難局を皆様と一緒に乗り越え、元の暮らしを再建したいという気持ちで降ります。恩返しをする意味でも、少しでも地域医療に貢献できればと思っています。

内山先生、ご多用の中ありがとうございました。この日モゾカタウンに泳いでいた沢山のこいのぼりのように、人吉球磨の賑わいが一日でも早く戻ればと思います。

聖火リレー on 5 May 2021

2021年5月5日東京2020オリンピックの聖火リレーが人吉市を駆け抜けました。

聖火リレーは、10時に歴史の広場を出発し、昨年の豪雨災害で被害を受けた九日町通りを抜け、青井阿蘇神社までの区間を12人のランナーが聖火を繋ぎました。

聖火リレーの時間帯、人吉市内の天気は生憎の雨でしたが、歴史ある聖火リレーを一目見ようと、沿道にはマスクを着用して感染予防対策をとった観客が集まっていました。

1964年に開催された東京オリンピックの聖火リレーでは、9月11日水俣市に託された聖火が、八代海に沿って国道3号線を北上、八代市日奈久警察署前までリレーされ、12日には八代平野を通り、沖縄本土を駆け抜けた聖火と熊本県庁で合流。翌日13日に玉名市を経由し、長洲港へ到着、対岸の島原半島へフェリーで渡り、残念ながら人吉の地を駆けることはありませんでした。

COVID-19の流行もあり、オリンピックの開催には諸手を挙げて喜べない状況が現実にはありますが、聖火リレーを観覧し、歴史あるオリンピックを開催するためにアスリートを始め、多くの人が労力を注がれていることを実感することができました。



昨年の豪雨災害や長期化しているCOVID-19の流行など、人吉・球磨地域を取り巻く環境は、決して明るいものではありませんでしたので、東京2020オリンピックの聖火が人吉・球磨地域にやってくることに希望を見出された方もおられたに違いありません。

従来の形での開催はできませんが、東京2020オリンピックが安全に、そして盛会に終えることができるよう祈りたいと思います。

New 制服ご紹介

気分が上がるビタミンカラーのオレンジと真っ青で爽やかなブルーの制服が今年度から導入されました。

オレンジ（左側）は管理栄養士、ブルー（右側）は看護師と職種によって色分けされています。



まだまだ、新旧の制服入り混じっての着用となりますが、オレンジとブルーの制服を着用したスタッフは、ほぼ新人さんです。優しく声かけしてみてください。

おくやみ

がん化学療法研究の第一人者で、活性酸素の働きを分かりやすく記述された「最強の野菜スープ」などの著者で、熊本大学名誉教授の前田浩先生が、18日逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

新 任 紹 介



福屋 莉那（中材・療養介助員）

趣味：食べること、パズル
好きな言葉：笑う門には福来る
自分の性格：マイペース



福屋 さゆり（予約センター・事務助手）

趣味：もの作り
好きな言葉：為せば成る
自分の性格：マイペースです

自分のコマーシャル：丁寧な対応を心がけて頑張ります。

暴力・暴言・迷惑行為を禁止します

当院では、患者さんに良質で安心、安全な医療を受けていただくことができるよう心掛けております。

その過程において、患者さんからの訴えやお申し出については、診療に必要な大切なご意見として耳を傾けるよう職員へ教育・指導をおこなっておりますが、一方で職員への「暴言」や診療の妨げとなる「迷惑行為」が発生しております。

「暴力」はもちろん、「個人を貶める発言を含む暴言」、「大声」、「セクシャルハラスメント」、「解決したい要求を繰り返す」などこれらは、すべて「迷惑行為」として診療をお断りするとともに、強制退院や院外退去、もしくは警察当局への通報を行うことがあります。

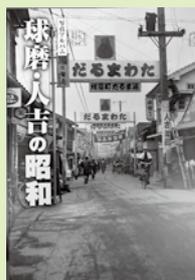
より良い医療を提供できるよう職員一同取り組んでまいりますので、皆様におかれましてはご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



書籍紹介

『写真アルバム 球磨・人吉の昭和』

2021年1月29日 初版発行
出版社：樹林舎



昭和の貴重な写真とともに懐かしい球磨・人吉の風景やその当時の風習などが解説されています。

昨年の豪雨災害で失われた風景や当時の人の生き生きとした写真がふんだんに掲載されており、昭和を生きた世代も、昭和を知らない世代も楽しめる一冊です。

